



JSCA千葉ニュース(冬)

発行 一般社団法人 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報・会員委員会)

〒261-0821 千葉市中央区若草1-2-35 (株)向後構造設計事務所 内 TEL043-225-2181 FAX 043-264-3046

ご挨拶

JSCA千葉副代表
(有)佐藤建築構造設計事務所 佐藤 暢彦

あけましておめでとうございます。副代表の佐藤がご挨拶申し上げます。

日本建築構造技術者協会はJSCA(ジャスカ)とよんでおりますが Japan Sutrukutural Consultants Association の略で建築構造設計及び監理に関わる技術者の集団です。1981年に設立された「構造家懇談会」を母体とし、1989年に社団法人化をして28年が経過しておりますが、建築の他の団体と比べまだ新しい団体であります。JSCAは多様性とみ、本部では多くの委員会活動やJSCA賞等様々な事業を活発に行っている団体で、会員同士の交流も盛んであり、会員の技術向上・社会的地位向上、また社会貢献を図る団体として業界や社会にも定着しつつある所ではないかと思っております。

近年において建築構造に関わる多くの事柄・事件が起きております。阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震等に伴い進められてきた公共施設の耐震診断、10年ほど前になりますがマンション構造計算耐震偽装事件、



JSCA千葉
佐藤副代表

さらに一昨年前には免振装置性能偽装事件、杭長偽装事件など新聞・テレビ報道等を通じ皆様もご存知かと思われま。 (構造屋は悪さばかりしているように思われますが・・・)特にマンション構造計算耐震偽装事件後には、建築基準法・建築士法の大幅な改正を行われ、構造設計一級建築士資格の設立、及び構造計算適合性判定による法適合の確認の制度ができました。ここ数年では緊急輸送道路沿道耐震化もすすめられており、JSCA千葉ではこれらの様々な事に対し他団体との協力のもとに支援をしております。

また、現在は各方面とも若手技術者が大変不足しておりますが、JSCA千葉においても勉強会や講習会・見学会等を実施し、若手技術者への支援を充実させると共に入会の促進を行っているところであります。JSCA会員の多くは構造設計一級建築士ですが、将来構造設計一級建築士を目指す方々にもJSCAに御入会頂ければ、構造設計専門家集団としてより充実した団体となると考えております。今後の皆様のご活躍を期待すると共に、私としても皆様との出会いを大切にし共に技術の向上及び社会貢献をしております。どうかよろしくお願い致します。

JSCA千葉役員会組織一覧

代表役員	★ 担当三役	◎ 委員長			
代表 向後 勝弘	技術・研修委員会	専門委員会	総務・会計委員会	広報・会員委員会	栗田 毅
副代表 市原 嗣久	★ 市原 嗣久	★ 向後 勝弘	★ 佐藤 暢彦	★ 佐藤 暢彦	秋山 秀之
〃 佐藤 暢彦	◎ 加藤 義道	◎ 飯島 宏治	◎ 筈谷 修作	◎ 西澤 博文	依田 実
(会計)	長内 光雄	木原 碩美	梶山 誠治	明智 孝夫	関 和弘
監事 飯島 宏治	竹下 章治	真崎 雄一	榊原 裕繁	高橋 悟	豊岡 重人
園部 隆夫	柴田 孝行	竹下 章治	園部 隆夫	齋藤 利彦	高橋 千絵
顧問 富島 誠司	涌井 栄治	楠川 邦輔	ホーム・ズ委員会	遠竹二三夫	園部 真弓
〃 真崎 雄一	貞弘 清英		★ 佐藤 暢彦	栗田 毅	小川 夏香
〃 木原 碩美	西原 幹夫		◎ 貞弘 清英	若手研修推進WG	阿部裕太郎
			加藤 義道	◎ 西原 幹夫	劔持 晃

JSCA千葉 平成28年 通常総会、記念講演会、懇親会の報告

(有)西原建築設計事務所 西原 幹夫

【平成28年度通常総会】

平成28年6月1日水曜日午後1時30分から三井ガーデンホテルにて、JSCA千葉第19回通常総会が、司役の加藤義道氏の開会宣言により開催された。

【通常総会後の記念講演会】

総会終了後の午後3時から、同ホテル平安東の間にて現JSCA会長であり、株式会社安井建築設計事務所執行役員の森高英夫氏による記念講演「BIMを活用した設計/耐震技術の最近の話題」が140名を超える出席者の中、JSCA千葉副代表の市原嗣久氏の司会によりされた。

【通常総会後の懇親会】前号からの続き

記念講演会后、午後5時30分から、同ホテル平安南の間において、佐藤暢彦副代表による開会の挨拶で、出席者127名による盛大な懇親会が開催されました。

向後代表は、出席頂いたご来賓の方々にお礼の言葉を述べた後、挨拶の中で、JSCA千葉として引き続き技術の向上を図っていくこと、また懇親会を通して、参加の皆様で是非交流を深めて下さい、と挨拶されました。

次に、ご来賓として、JSCA会長の森高英夫様より、通常総会が滞りなく終了したことのお祝いと、東日本地震の液状化被害に対するJSCA千葉の協力活動にお礼の言葉を頂きました。

行政からのご来賓挨拶として、千葉県県土整備部次長百瀬登展様からは、JSCA千葉の協力により特定建築物の耐震改修が進められたことに対して、感謝の言葉が述べられました。

また、千葉市役所都市局建築部建築審査課課長山下英雄様からは、千葉市において今年から、緊急輸送道路沿いの建物の耐震診断だけでなく、改修工事にも補助金助成を始める、ということで、建物の耐震化

を今後とも進めていきたい、と述べられました。

ご来賓の方々の紹介の後、千葉県建築士事務所協会会長鈴木兼次様の乾杯の挨拶により、祝宴が始まりました。参加の皆様は、会社を超えて、楽しく交流を深めているようでした。また、祝宴の途中には、賛助会員の(株)角藤の平瀬慎一郎様の進行で、賛助会員の方々による自社PRが順次なされました。

最後は、市原嗣久副代表の三本締めにより、懇親会は盛大の内に、終演となりました。



向後代表 挨拶



千葉県県土整備部 百瀬登展次長挨拶



懇親会 会場

JSCA千葉 平成28年度「研修旅行」

(株)西澤設計事務所 西澤博文

研修旅行で、平成28年11月27日(日)に伊豆修善寺温泉へ一泊で行った。

今回の研修旅行の趣旨として前々回より好評であり今回も、現地集合・現地解散では無く、「JSCA千葉忘年会」を兼ねて、皆で懇親を深める「研修旅行」とした。

暮れに近い忙しい時期であるにも関わらず、JSCA千葉の役員だけでなく、若手会員(6名参加)及び賛助会員(9名参加)を含む21名もの多数の参加が有った。

今回は早い時間の出発なので、軽食をグレードアップして、焼き鳥(50本)・まい泉のカッサンド・五目稲荷ずしを人数分、東京駅構内地下街で手配し、役員7名は午前11時に東京駅「銀の鈴」に集合し買い出しに奔走することに・・・

12時00分特急「踊り子115号」指定席に乗った。ビール・ハイボール等合計40本、日本酒3本(八海山)は、車中で直ぐに飲み干して、赤い顔をして途中見学の三島駅に着いた。

そこから、三島観光協会のボランティアガイド2名に案内してもらいながら見学、手作りのJSCA千葉の旗2本を持って2班に分かれて三島市立公園楽寿園→白滝公園→三島大社→問屋場と三島駅から2つ目の駅まで約2時間ほど小雨の中を歩き、すっかり車中の酔いも醒め、伊豆箱根鉄道「修善寺」駅に着いた頃には、4時半と日も落ちかかり、伊豆箱根バスに乗り、やっと修善寺温泉

のホテル「桂川」の癒しの湯に浸かった。

6時半より大宴会場で懇親会を開催し、今回は20代の若い可愛い6名のコンパニオンが来た。

伊豆修善寺温泉旅行は格安パック料金(特急券+宿泊+宴会コンパニオン+2次会カラオケバー飲み放題)宴会の進行は賛助会(石橋・田島・後藤)にまかせコンパニオンとのゲームで華を咲かせた。

2次会は舞台付き個室部屋貸切に、コンパニオン全員を引き連れカラオケを歌ったり、踊ったりと仲間とどんちゃん騒ぎ、3次会は向後代表の部屋で・・・

(2次会以後の追加コンパニオン代は賛助会が負担してくれました・・・幹事としてとても助かりました)

2日目は弘法大師によって開かれた修禅寺に向かって、9時30分ホテルを出発修善寺→河原湯/独鈷の湯→桂橋→竹林の小道→指月殿に、「伊豆の小京都」と呼ばれる修善寺は、静かな山間にあり温泉街で心地よくのんびりと散策、開湯1200年の歴史を誇り、風情ある街並みの中に歴史や文学の舞台が点存し自然の美しさと時の流れを感じさせられた。(写真)

帰路もアルコールを存分に買い込み、伊豆箱根鉄道「修善寺」駅より直通(2時間14分)特急「踊り子」の旅を満悦して、14時49分に無事東京駅に着いた。

最後に研修旅行で各係を担当して下さった皆さん(明智・栗田・遠竹・平瀬・石橋・田島・剣持)

絶大成るご協力有り難う！！



直虎の城の前にて



修善寺にて集合写真



紅葉の桂橋にて

「国際医療福祉大学新築工事 工事現場見学会」の報告

(株)西澤設計事務所 劔持 晃

平成28年11月1日(火)に国際医療福祉大学医学部新築工事の現場見学会へ参加させていただきました。

当工事は、京成「公津の杜」駅を出て目の前で現在施工中の(株)ピーエス三菱のPCaPC(プレキャスト・プレストレスト・コンクリート)工法を採用した綺麗な箱型の建物です。

当日の流れとしては、駐輪場予定地にある詰所で当工事の概要と当工法の説明をしていただいた後に、実際に現場を見学してきました。

当現場では当工法の5つあるメリットの内、「工期の短縮」「フリープランと可変性の高さ」「環境にやさしい工法」の3つを意識しているそうです。特にその中でも「環境にやさしい工法」の実例として、道路を挟んで目の前



(株)西澤設計事務所
劔持 晃

にある平成27年に竣工した、当大学の成田看護学部と成田保健医療学部の校舎と比較したところ、なんと建設混合廃棄物が50%も減少させることが出来たそうです。工夫次第ではまだ削減の余地があるのかという期待と、短期間で大幅に削減できる技術の凄さを感じました。

また、普通の建設現場では見ることのない500トクロウラークレーンや、吊されて運ばれる巨大な梁のスケール、やじろべえ型の梁、そしてほとんど物の置いていない綺麗な現場に終始感動しながら現場見学をすることが出来ました。

最後になりますが、今回この報告書を担当させていただきました。(株)西澤設計事務所の劔持晃と申します。千葉職業能力開発短期大学校を卒業し、平成28年の春から社会人として歩み始めたばかりで右も左も分からないことばかりですが、よろしくお願ひ致します。また、これからの見学会や勉強会・懇親会などには、ぜひ若手の方々に参加していただきたいと思ひます。



現場事務所にて説明会



現場前にて集合写真

編集後記

千葉市の熊谷市長が「千葉市立保育所男性保育士活躍推進プラン」を実施すると発表した。

これまで女性職員が多かった保育士業界で男性の活躍の幅を広げることが目的で「働きやすい環境をつくることで、保育の世界を目指す男性に千葉市で働きたいと思ってもらえることにも期待する」としている。

一方では「男性に女児の世話を任せることに不安がある」といった保護者からの意見がある。

千葉市内の公立保育所の数は、平成28年4月1日現在で59カ所あり、正規職員の保育士は全体で700人だが、男性保育士の数は全体の1割を下回る50人である。

建築業界では、女性建築士の数が男性建築士に比べてかなり少ない。しかし、あのザハ・ハジド氏や妹島和世氏のようにプリツカー賞を受賞した建築家の存在や(公社)日本建築士会連合会の全国女性建築士連絡協議会の活躍等を考えると建築業界での女性建築士(家)の活躍を多いに期待したいと思う。(明智)